令和5度「文化芸術による子供育成推進事業　出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ

複数申請の状況(該当するものを選択してください。)　※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ　こてんくうかん		団体ウェブサイトURL
制作団体名	有限会社　古典空間		https://www.koten.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役　小野木豊昭		
制作団体所在地	〒　151−0062	最寄り駅(バス停)	代々木上原駅
	東京都渋谷区元代々木町10−2　西俣ビル1F		
電話番号	03-5478-8255		
ふりがな	ゆうげんがいしゃ　こてんくうかん		団体ウェブサイトURL
公演団体名	有限会社　古典空間		
代表者職・氏名	代表取締役　小野木豊昭		
公演団体所在地	〒　151-0062	最寄り駅(バス停)	代々木上原駅
	東京都渋谷区元代々木町10−2　西俣ビル1F		

制作団体　設立年月	平成10年5月	
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等
	代表取締役　小野木豊昭 取締役　佐藤拓矢	制作スタッフ5名、経理スタッフ1名 伝統芸能の普及・振興に寄与することを志す23歳以上の男女

事務体制 (専任担当者の有無)	他の事業と兼任の事務担当者を置く	本事業担当者名	佐藤拓矢
経理処理等の監査担当の有無	有	経理責任者名	大貫信子

制作団体沿革	1990 年、伝統芸能企画制作オフィス＜古典空間＞を設立。1998 年、法人化。 各種邦楽、話芸、日本舞踊など伝統芸能を専門に、全国各地における自治体の文化事業 公共ホール自主事業公演の企画・制作、学校公演や外務省等の海外公演コーディネート 各種イベントのプロデュース・企画・制作を行う。主な業務実績として、茨城県小美玉 市における学校アクティビティ(アウトリーチ)事業（2003～2017）。 東京都他主催＜東京発・伝統WA 感動＞より『三弦 海を越えて』『邦楽ワンダーBOX』 等の企画・制作。東京スカイツリーオープニングイベントの制作（2012）。アーツカ ウンシル東京主催『神楽坂まち舞台・大江戸めぐり』の制作（2013～）、徳島県文化 振興財団主催『徳島邦楽ルネッサンス』 諸公演の制作（2015～）など。2018 年3 月、文化庁委託事業として（公社）全国公 立文化施設協会より『劇場・音楽堂等 伝統芸能事業企画制作ハンドブック』刊行 （代表・小野木豊昭ら編集委員）。		
学校等における公演実績	2005～2014年　茨城県小美玉市学校アクティビティ事業 市内の幼稚園、小・中学校 毎年巡演。 2006年～2019年　新潟県十日町市立南中学校邦楽観賞教室。 2010年～現在　東京都北区スクールコンサート。 他、全国各地の幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校、大学での鑑賞教室、 ワークショップなど多数実施。		
特別支援学校等における公演実績	平成29年度（2016）～現在　文化庁・巡回公演事業（文化芸術による子供育成総合事業）にて実施。		
参考資料の有無	**申請する演目のWEB公開資料**	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/fv8ycb1W_wQ	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

公演・ワークショップの内容　【公演団体名　有限会社　古典空間　】

対象	小学生(低学年)	○
	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○
	中学生	○

企画名	**三味線ナビ♪** **～聴いて納得、観て楽しい、三味線ワールド～**
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	数多くの伝統芸能を支えてきた《三味線》は、日本を代表する伝統楽器です。 三味線を間近で観て、聴いて、感じることで、日本文化への理解と未来に繋げる発想力を育むことを目的に構成します。 **①三味線ナビゲーション　～歴史・種類・構造～** 4種類の三味線が同時にオンステージし、歴史・素材と構造・基本的な奏法などを紹介します。 **② 琉球芸能の花！三線** 『かぎやで風節』、『谷茶前節（たんちゃめーぶし）』『唐船ドーイ』 **③ 人形浄瑠璃を支える！義太夫三味線** 『勧進帳(かんじんちょう)』『秋の色種（いろくさ）』から「虫の合方」ほか **④ 歌舞伎と共に！長唄三味線** 『出三間堂棟由来』より「木遣り音頭)」 『新版歌祭文（しんぱんうたざいもん）』より「野崎村の段（のざきむらのだん）」 **⑤三味線の進化系！津軽三味線** 『津軽じょんから節』『あんじょん７』ほか **⑥ ワークショップ発表コーナー** 「三味線にチャレンジ!」「オリジナル練習曲」 **⑦ 三味線と合唱(合奏)しよう！** 『世界に一つだけの花』（作詞/作曲：槇原敬之) **⑧ フィナーレ・三味線大合奏！** 「各三味線代表曲メドレー」 公演時間　80　分

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況	

演目概要	別添（１）をご参照ください。

演目選択理由	■中学校「音楽」の**教科書に取り上げられている楽曲**ほか、**各邦楽ジャンルを代表する名曲**であること。 ■同構造の４種類の三味線の**〈歴史、構造、奏法〉の比較**より、日本文化の持つ**多様性を体感**していただけること。 ■曲の解説と演奏を通して、**伝統芸能への興味促進**に繋がる充実したコンテンツを有していること。 ■**〈スピード感、迫力、哀愁、超絶技巧〉**などを体感できる楽曲で、**初体験でも興味の入口**を数多く有していること。 ■**手拍子などで演奏に参加しやすい楽曲**であり、会場の一体感を演出し易く、**子どもたちの参加意識を高められる**こと。 ■共に演奏することで**協調性を学び、鑑賞から参加**へ、音楽そのものの楽しさを感じられる楽曲であること。
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	**■児童・生徒〈全員〉が参加するコーナー** ◇冒頭、4種類の三味線の比較しながら説明するコーナーでは、「クイズコーナー」を設けます。 「三味線に貼ってある皮…何の動物？」など、三味線の素材を当てる内容を中心に実施します。 すべてが自然素材で作られている三味線を通して、プロの演奏家が自然や命に対する感謝を抱きつつ演奏に臨んでいることをお伝えします。 ◇三味線奏者全員の演奏と、代表の児童・生徒または先生のピアノを伴奏による合唱の共演。 本公演のテーマの一つ＜三味線を通してお伝えする日本文化の「多様性」＞に即して、「世界で一つだけの花」（作詞/作曲：槇原敬之）を予定しています。 但し、学校より別の楽曲のご要望があった場合は、可能な限り受け入れています。 当日資料投影用に用いる大型スクリーンに歌詞を投影し、直前にスタッフと振付を練習してから行いますので、気軽に楽しみつつ参加していただけます。 ◇沖縄の三線コーナーでは、「唐船ドーイ」の演奏時、沖縄独特の手踊りであるカチャーシーを伝授し、簡単な練習の後、演奏に合わせて全員に踊っていただきます。 ◇津軽三味線コーナーでは、演奏を盛り上げるための「拍手」の仕方を伝授し、演奏と同時に児童・生徒の皆さんに実践していただきます。 **■プロとの共演／〈津軽三味線〉成果発表コーナー** ワークショップ時に体験し、その後も練習を積んだ津軽三味線の成果を、プロの演奏家と共に披露します。 なかなか覚えられなかった児童・生徒には、横にプロの演奏家が寄り添いつつ演奏をサポートします。 **■質疑応答コーナー** 三味線について聞きたいことを""自由に質問できる""コーナーを設けます。優しく、わかり易く答えます。
出演者	各ジャンルの第一線で活躍するプロ達がこの日のために集結！ 各三味線を象徴するフレーズを活かした前代未聞のコラボレーションも必見です！ **＜沖縄三線＞** **・山内　真貴子**　：琉球新報社主催琉球古典芸能コンクール（野村流三線の部）最高賞受賞。 **・下地　彩香**　：琉球新報社主催琉球古典芸能コンクール（野村流歌三線の部）最高賞受賞。 **＜長唄三味線＞** **・芳村　伊十治郎**：2018年 国立劇場主催「明日を担う新進の邦楽・舞踊鑑賞会」に抜擢。 **・杵屋　五助**　：人間国宝三世杵屋五三郎、四世杵屋五三郎に師事。 **＜義太夫三味線＞** **・鶴澤　津賀榮**　：人間国宝・竹本駒之助に入門。2000年 芸団協助成新人奨励賞受賞。 **・鶴澤　賀寿**　：人間国宝・竹本駒之助に入門。2004年 義太夫協会新人奨励賞受賞。 **＜津軽三味線＞** **・あんみ通**　：文化使節として2009年「日メコン交流年2009あんみ通アジアツアー」、 **(安仲由佳、金田一公美)**　2011年パリ「ギメ美術館公演」の他、数多くの国々で公演を行う。

本公演 従事予定者数 （1公演あたり） ※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者:　8　名 スタッフ:　10　名 合　計:　18　名	運搬	積載量:　2　t 車　長:　6　m 台　数:　3　台

本公演 会場設営の所要時間 （タイムスケジュール） の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	9:30～12:00	13:00	10分	14:20	16時00分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。					

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。（大幅な変更は認められません）	6月	7月	8月	9月	10月	
	5日	15日		15日	15日	
	11月	12月	1月	計	80日	
	10日	10日	10日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	10名
		鑑賞人数目安	800名

公演に係るビジュアルイメージ
（舞台の規模や演出やがわかる写真）

※採択決定後、採択団体へ図面等詳細の提出をお願いします。

【公演団体名　有限会社　古典空間　】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	150名
ワークショップ実施形態及び内容	別添（２）をご参照ください。		
ワークショップのねらい	◇三味線を体験する 違和感から一体感へ ・「楽器の扱い方」、「楽器の持ち方・構え方」、「バチの持ち方・音の出し方」の**基本を身に付けて**もらい、提示した**段階別達成目標に向かって反復練習**します。 ・あえて２グループに分けて練習します。「他者の稽古を見るのも稽古の内」…自分を**客観視する稽古**を実践します。 ・少しずつ「できるようになってくる」実感を持つことによって、馴染みが薄かったはずの**日本の伝統楽器**が、身体的にも気持ちの上でも“グッと近づく”イメージ、つまり**違和感→一体感**に変化してゆくことを実感していただきます。 ◇入門練習曲を練習する 日本の楽器で音楽の楽しさの実感 ・三味線を初めて体験する児童・生徒のために作られた**練習曲にチャレンジ**します。 ・単純なフレーズの反復で構成されていますが、児童・生徒の演奏の途中からプロの奏者が演奏に参加し、**共演**を果たします。 ・日本の楽器でアンサンブルの**楽しさを体感**していただきます。 ・「かけ声」で演奏が始まったり、演奏終了のキッカケの合図になったり…西洋音楽との相違点より、**日本の音楽の特徴やおもしろさ**をお伝えします。 ◇楽器を片付ける 工芸品としての楽器 ・三味線を解体してケースにしまうプロセスを見てもらうことで、三味線の棹が３つに分解できること、またその継ぎ目が分らないほど**精巧**に作られていることを知っていただきます。 ・普段は見る機会のない三味線の胴の中を覗き見ることで、「綾杉彫」という**良質な音を作る先人の工夫**に触れることができます。 ・楽器であると同時に、時間をかけて丁寧に手作りされた工芸品としての側面を知ることで、**日本の伝統文化の奥深さ**を感じていただきます。		
その他ワークショップに関する特記事項等	ワークショップ後の自主練習用に以下をご用意いたします。 **①練習用楽器の貸し出し** **②お稽古用映像の提供** 		

A区分・B区分・C区分共通

別添

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【演目概要】

演 目 概 要

1	三味線ナビゲーション　～歴史・種類・構造～
2	琉球芸能の花！三線
3	歌舞伎と共に！長唄三味線
4	人形浄瑠璃を支える！義太夫三味線
5	三味線の進化系！津軽三味線
6	ワークショップ成果発表コーナー
7	三味線と合唱(合奏)しよう！
8	フィナーレ・三味線大合奏！

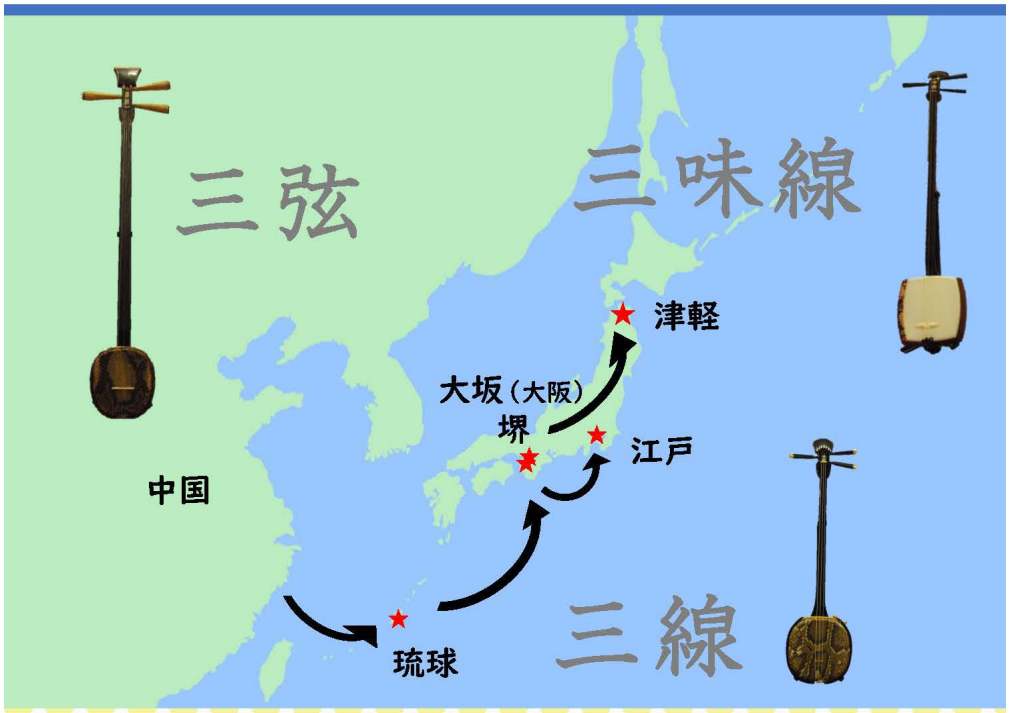
リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【演目概要】

演目概要

1．三味線ナビゲーション　～歴史～



大陸→沖縄→日本…
今から400年以上も昔、海を渡って日本に伝わった
3本弦の楽器は〈三味線〉として姿を変えました。

そして、人形浄瑠璃や歌舞伎は言うまでもなく、北から南まで…
日本各地のさまざまな芸能を支える楽器として大活躍しているのです！

三味線は、人から人へ伝えられる途中で、
演奏される場所や地域の特色に合った形に"顔"を変えていきました。
一口に三味線といっても、実にいろいろな種類があるのです。

沖縄の〈三線〉、細棹の〈長唄三味線〉、
太棹の〈義太夫三味線〉と〈津軽三味線〉…
一同に会する4種類の三味線を通して、日本の
「文化の系譜」と「文化の多様性」をお伝えします！

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【演目概要】

１．三味線ナビゲーション　～種類～

演目概要

三味線にはいろいろな種類があります。
一線で活躍する演奏家の皆さんが、各三味線が持つ
オンリーワンの特徴を、演奏と共に解き明かします！

スクリーンに楽器や演奏家の
手元を映しながら、その**歴史や**
奏法を「比較・対比」しつつ、
楽しくわかり易く解き明かし、
コンサートの扉を開けます。

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【演目概要】

２．琉球芸能の花！三線

演目概要

三線は“今”も沖縄の人々に愛され、日常さまざまな場面で演奏されてます！

昔は「宮廷音楽」といって、琉球王国の王様や偉い人達、
外国からのお客様だけが聴けるような貴重な音楽でした。

その後、一般の人々にも伝わり、今では民謡や沖縄の念仏踊り・
エイサー、またポップスなど様々なところで三線は活躍しています。

かぎやで風節（かじゃでぃふうぶし）

琉球の宮廷音楽を代表する演目。

王様の気分で聴いてみよう！

谷茶前節（たんちゃめーぶし）

庶民の生活を描いた賑やかな曲。

手拍子で参加しよう！

唐船ドーイ（とうしんどーい）

宴会やお祝いの席での最後の定番曲。

カチャーシーをみんなで踊ろう！

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【演目概要】

３．歌舞伎と共に！長唄三味線

演目概要

歌舞伎とともに発展してきた
三味線音楽・長唄を支える三味線です！

細棹三味線を用い、明るくリズミカルな曲から、しっとりとした曲まで、
さまざまな音楽を、複数で演奏するスタイルが基本です。

舞踊の伴奏、そして情景や心理描写などの
効果音・BGMを担当し、芝居を彩っています。
江戸の土地柄や気風に合う軽快で華やかな音色が特徴です。

勧進帳（かんじんちょう）

歌舞伎の代表作。
源義経や弁慶たちによる熱いドラマ！

中学校の音楽の
教科書でもおなじみ！

秋の色種（いろくさ）から「虫の合方」

長唄の名作。
虫の鳴き声を思わせる音色に秋の情景が浮かぶ。

耳で感じる和の心！

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【演目概要】

４．人形浄瑠璃を支える！義太夫三味線

演目概要

さまざまな物語を三味線の演奏にのせて“語る”芸能が「浄瑠璃」…その浄瑠璃を支える三味線です！

江戸時代の大坂（今の大阪）で大人気だった
「竹本義太夫」という人が作り上げた浄瑠璃が義太夫節です。

「太夫（たゆう）」といわれる語り手が、一見大げさにも思えるダイナミックな表現で一人何役もの登場人物を語り分け、場面や情景を描き出します。
語りの声に負けないように三味線も大きく響くよう、
太棹の三味線が使われました。

力強い低音から優しく哀愁に満ちた音色が特徴です。

卅三間堂棟由来(さんじゅうさんげんどうむなぎのゆらい)
より「木遣り音頭(きやりおんど)**」**

場面や心情を弾き分ける！

聴く者の想像力を刺激する…“物語を伝える三味線”ならでは！の演奏。

新版歌祭文（しんぱんうたざいもん）**より**
「野崎村の段（のざきむらのだん）**」**

これぞ太棹三味線の音色！

義太夫節の中でも大変おなじみの名曲。

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【演目概要】

演目概要

5．三味線の進化系！津軽三味線

飲んで食べて唄って踊って・・・
その伴奏楽器として愛され続けてきた津軽三味線！

明治初期に成立したと言われる新しいジャンルの三味線です。
日本の本州最北端・青森県津軽地方で生まれ、
太棹の三味線を使用します。

即興性＝アドリブ主体の演奏が特徴で、現在は
若い演奏家の活躍も注目され、独奏楽器、また
異ジャンルとのコラボレーションが可能な楽器として
人気が高まっています。

高速の力強いバチ使いと左手の「ハジキ」という演奏技法に
よる、迫力とスピード感あふれる演奏にご注目ください。

オリジナル曲「あんじょん7」

津軽三味線ならでは演奏法がギッシリ。

高速の力強い
バチ使いに注目！

津軽じょんがら節

津軽地方を代表するおなじみの民謡。

拍手が多いと
アドリブが増える？

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【演目概要】

演目概要

6．ワークショップ成果発表コーナー

事前ワークショップでお稽古を
した成果をみせるハレの舞台！

プロフェッショナルの
先生たちと共演を果たします。

7．三味線と合唱（合奏）しよう！

歌詞にある「一人一人違う種を持つ」「一つとして同じものはないから」などの歌詞に注目し、**三味線の多様性**とリンクさせながら歌ってもらうことを意図しています。

※リコーダーやブラスバンドなどと器楽合奏も可能です。

世界に一つだけの花

（作詞/作曲：槇原敬之）

全校生徒と三味線奏者全員による合唱（合奏）！

手拍子、足拍子、振り付きで参加しよう！

一見同じような姿形でも、
一つ一つの楽器がオンリーワン

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【演目概要】

８．フィナーレ・三味線大合奏！

演目概要

基本的な構造は同じでも、「似て非なる」楽器が三味線です！
互換性はほとんどなく、同時に演奏する機会は普段はありません。

だから、これだけの三味線が同じステージ立つことは超レア…
構え方、演奏法、衣裳…それぞれの三味線の特徴を見比べてみてください！
音色の違い、そして各三味線が奏でる音楽のすばらしさを聴き比べてみてください！

４種類の三味線を象徴するフレーズを活かした前代未聞のコラボレーション！
一見同じような姿形でも、一つ一つの楽器に際立った＜個性＞があることを
感じていただければうれしく思います！

生徒の声

動物の皮（いぬ・ねこ）を使う楽器があると初めて知った。
三味線のバチは全部同じだと思っていたけど、それぞれ違っていると分かった。「人それぞれ違うように、楽器もちがいます」っておっしゃっていたのを楽器を見ると思い出す。
（中学1年・女子）

生徒からの花束贈呈

今まで日本の楽器は“ダサい“と思っていたけど、とてもかっこいい印象にかわった。
三味線をやってみたいと思った。
僕は義太夫三味線がしたい!!
（中学2年・男子）

リンク先	No.3	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【ワークショップ
実施形態及び内容】

ワークショップ実施形態及び内容

1. 三味線を聴いてみよう！
2. 三味線の歴史を知ろう！
3. 三味線のヒミツを教えます！
4. 三味線を弾いてみよう！

本公演ではカバーしきれない内容を深掘りします。

リンク先	No.3	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【ワークショップ
実施形態及び内容】

ワークショップ実施形態及び内容

１．三味線を聴いてみよう！

まずは迫力ある三味線の音を体感しよう！
スピード感！迫力！哀愁！超絶技巧！
初めてでも楽しんで聴いていただけます。
体験へのモチベーションを高めることが目的です。

２．三味線の歴史を知ろう！

中国→沖縄→日本、そして津軽地方に渡って今にいたる
三味線の歴史をお伝えします。

歴史的には一番新しい津軽三味線の演奏家が、三味線という楽器がたどってきた足跡を分かりやすくご紹介します！

３．三味線のヒミツを教えます！

- 三味線は、**わずか3本**の太さの異なった糸で
すべての音をつくり出します。
- 糸（絹糸）は**強化、防虫のため**にウコンで
染めているため黄色い色をしています。
- ギターのように棹にフレットがないため、押える
ポジションは**訓練によって体得**しなければなりません。
押えるポジションのことを「かんどころ」と言いますが、
文字通り**“勘”で操る**のです。
習得するには日々の努力と継続が大切！
- **伝統の技！“目からウロコ”の三味線解体ショー**
棹が３つに分解でき、その継ぎ目が分からないほど
精巧に作られており、**伝統工芸としての技**が
施されています。
胴の中に「綾杉胴」という良質な音を作る工夫も！

今日からあなたも三味線博士！

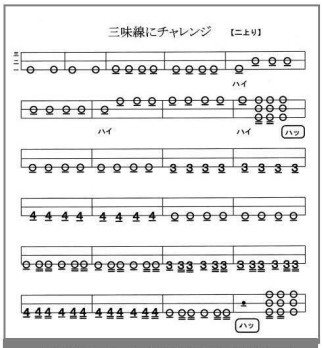
リンク先	No.3	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【ワークショップ
実施形態及び内容】

ワークショップ実施形態及び内容

楽しく！
わかりやすく！
レクチャー！



オリジナル練習曲譜面

４．三味線を弾いてみよう！

三味線を持って演奏する楽しさを体験しよう！

①**まずは姿勢から。**
背筋を伸ばし、床にしっかり足をつけます。

②「楽器の扱い方」、「楽器の持ち方・構え方」、
「バチの持ち方・音の出し方」の基本を身につけよう。

③みんなで息を合わせて弾いてみよう。

④譜面に合わせて曲を弾いてみよう。
個人の反復練習＆グループ練習でステップアップ！

⑤演奏のきっかけ「かけ声」を練習しよう！

⑥プロの奏者と一緒に合奏！
アンサンブルの楽しさを体感しよう！

⑦暗譜しよう。本番は譜面を見ずに弾けるようになろう。

⑧本番に向けてもう一度復習しよう！

今日からあなたも三味線奏者！

リンク先	No.3	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【本事業に対する取り組み姿勢、および事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫】

事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

・「わかる、理解する＝勉強しよう」という切り口ではなく、
「楽しい、面白い、　カッコイイ！」と感じる」仕掛けをつくります。

・関連映像や資料の送付などを通して、
＜先生⇒児童・生徒＞ 間の情報伝達のフォローを積極的に行います。

・目的と実施成果の共有のために、先生や児童・生徒からの事前の質問に　可能な限りお答えし、**本公演への期待感とワークショップ後の練習のモチベーション**を高めていただくためのフォローを積極的に行います。

・本事業実施に関する**学校側の負担を可能な限り減らす工夫**を致します。

・訪問する学校の施設規模、動線、付帯設備、電源関係、水回り等、施設の状況を　把握し、早い段階での打合せを行います。

・学校サイドへ「安心感」の提供を第一に心がけ、ワークショップの進め方や本公演の迎え方をはじめ、小さな疑問にも迅速かつ丁寧にお答え致します。

大型スクリーンに演奏シーンの手元やトーク内容に即した資料などを投影します。

日本という風土の中で変化と進化を遂げた数々の三味線の歴史を**視覚的に**伝えていきます。

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社　古典空間	】

項目内容

【演目概要】

1．三味線ナビゲーション　～構造～

演目概要

糸の張り具合で音の調子を変える「調弦（ちょうげん）」を行う部分です。

糸巻（いとまき）

三味線は、弦のことを「糸（いと）」と言います。太い順から一の糸、二の糸、三の糸と呼びます。

糸（弦）

糸をはじいて鳴らす、ヘラ状の道具です。三味線によってさまざまな大きさや形があります。

バチ

コマの素材、大きさや形によって、音色が大きく異なります。

棹（さお）

糸の振動を胴皮に伝える働きをします。

駒（こま）

澄んだ音色ではなく、ビィーンというノイズ(雑音)が出る仕組みのことで、三味線の魅力の一つです。

サワリ